

# 高尾メソッドの 引用スライド



岡山大学高尾総司 Office d'Azur森 悠太 前園綜合法律事務所前園健司

注:高尾メソッドをセミナー等で紹介する場合は、2枚目のスライドを必ず、研修資料に含めて紹介をしてください。引用をする限りにおいて、紹介は自由です。

<http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/?p=6871>

2024.6.7Ver1.00

# いわゆる「高尾メソッド」の紹介について

\*本スライドについては、一切の改変を許可していません。岡山大学HPに公開されている内容と同一であることを必ず確認してください。

岡山大学・高尾総司、Office d'Azur・森悠太 前園綜合法律事務所・前園健司

高尾メソッドは、理論部分と運用部分（手順と様式）に分かれています。セミナーで、メソッドを利用されている企業からの紹介がある場合には、両者がやや渾然一体となって紹介されているケースがどうしても多くならざるをえないものと考えています。また、理論の示す答えはわかっているとしても、担当者の心理的な苦悩や経営層の理解などにより、実際の各社における運用において、理論からの逸脱が生じていることはメソッドとしても想定しています。

したがって、御社の現状を考える機会として、紹介された内容の一部を試行的に使ってみることは妨げませんが、正式な運用にあたっては、そのまま無思想的に使用するのではなく、必ず原典である「健康管理は従業員にまかせなさい（保健文化社）改訂2版」「面接シナリオによるメンタルヘルス対応の実務（労働新聞社）」の二冊について最低限、社内での勉強会等を行ったうえで、理論と運用のすり合わせ部分については、あくまでも自社の決定において行うことを理解し、特に手続きとしては、衛生委員会の機会等を活用して、労働者側の意見も踏まえたうえで、最低でも労働者集団との合意にもとづく運用をするものだと理解をお願いします。

「復職名人（<https://fukushoku-meijin.com>）」を通じて、公式サポートを行っています。公式サポートでは、言及した理論部分と運用部分のすり合わせ部分について、運用が理論を覆すことがないよう適時に助言・指南をしていますので、公式サポートを受けている企業の運用については、比較的理になかったものであると考えています。一方で、メソッドの紹介は、公的研究の報告書やさまざまな書籍・連載等でも行なっています。こうした情報を自律的に利用している企業・組織の運用については、開発者である高尾も公式サポートを担当しているOffice d'Azur、共著者の前園のいずれにおいても、その内容を保証するものではありません。